



知多リハたごより

部門紹介

支援センターについて

2006年4月に知多リハビリテーション病院が開院して以来、およそ1800名が自宅に退院されました。これだけたくさんの方が自宅生活を送れているのは患者さんの努力、ご家族のサポート、それを支える皆さまのご協力があった成果と感謝しています。

当院支援センターは開院と同時に設置され、病院の窓口としての機能を果たしてきました。

現在、看護師1名、ソーシャルワーカー5名が在籍しています。私たちは、①入院前から退院後まで切れ目ない連携②顔の見える連携③相手の立場にたって一緒に考える この3点を念頭に日々携わらせていただいています。

さて、皆さんも耳にしたことがある‘2025年問題’。医療・介護業界もそれは例外ではありません。ここ知多地域に住む私たちも十分備えていかなければいけません。愛知県医療構想では知多半島内において在宅で何かしらの医療(ケア)を必要とする方は1.5倍になると推測されています。

そのような中、当院はより一層、地域生活を支える拠点になっていかなければいけないと考えています。右下に載せました写真はH30年3月22日に開催された「知多リハビリテーション病院地域連携懇話会」の様子です。当日は20数名のケアマネジャーさんと福祉用具事業者さんに参加いただき、実績報告や地域包括ケアシステムを見据えた当院のビジョンをお伝えしました。当院の強みであるリハビリテーションについても今後、皆さまに周知していただけるような取り組みを支援センター中心に考えていきます。当院について知りたい事、相談したい事などがありましたらお気軽に支援センターまでご連絡ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



～平成30年度新入職員紹介～

平成30年4月、昨年の中途者採用も含めて10名の新しい仲間が入職しました。夢と希望を胸に抱き、知多リハビリテーション病院の一員として第一歩を踏み出しました。これから、色々な壁にぶつかりながらも、経験を積み、患者様のために頑張るニューフェイスから、ご挨拶をさせていただきます。



リハビリテーション部



言語聴覚士
岩下 知永

言語聴覚士として勤務しますが、他部門からも多くを教えてくださいと思っています。新人で分からないことばかりですが、一生懸命頑張らせて頂きます。よろしくお願い致します。



言語聴覚士
清水 映里

ご迷惑をお掛けする事があるかと思いますが、1日も早く皆様に信頼されるセラピストとなれるよう日々頑張っていく所存です。どうぞよろしくお願い致します。



作業療法士
加藤 里佳

この春、愛西市から引っ越しをしてきました。至らない点もありますが、先輩方にご指導を頂き、患者様がその人らしく生活する手助けとなるよう精進しますので、よろしくお願い致します。



理学療法士
高見 知広

神戸から来ました。知らない土地で戸惑いもありますが、関西人パワーと持ち前の明るさを活かして精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



理学療法士
吉満 卓馬

わからないことばかりでご迷惑をおかけすると思いますが、早く業務になれるようにしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

看護・介護部



看護師
竹中 麻奈実

まだまだ分からないことやできないことがあります。頑張っていきますので、よろしくお願い致します。一日でも早く戦力になれるように頑張ります。



医療ソーシャルワーカー
島 久美

以前は老人保健施設の相談員をしていました。MSWとしての知識不足を痛感する毎日ですが、患者様・ご家族様のお役に立てるように努めたいと思います。旅行・パーベキュー・スノーボード等で遊ぶ事が大好きです。よろしくお願い致します。

事務部



事務
外山 愛

向上心や相手を思いやる心を大切に、患者様はじめ周りの方々に信頼して頂ける様、支えて下さる方々に感謝しながら、日々成長していく様に一生懸命頑張ります。宜しくお願い致します。

院内託児のびのび



保育士
西山 りさ

4月より託児所のびのびで保育士として働かせて頂くことになりました。お父さん、お母さん方が安心して大事なお子さんを預けられるよう、笑顔で頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



保育士
石川 依理

3月まで保育園で勤務していたので、その経験も活かしながら、スタッフの方が安心して仕事に向かえるように、そして子供達も安心して楽しくすごせるように保育していきたいと思っております。

栄養科より「管理栄養士の役割とは・・・」

管理栄養士 安井純子

1 特色

・リハビリテーション栄養

患者さんの状態に合わせた栄養管理を行い、リハビリの効果を高めていきます。

低栄養やサルコペニアの患者さんに対し、各職種と連携を図りながら栄養状態の改善を目指していきます。低栄養ではない患者さんにも筋力向上のための補食を勧めたりすることもあります。

・栄養指導

在宅へ戻られる患者さんやご家族に生活習慣病の食事についてお伝えしています。また、嚥下障害がある方の食事の作り方について実践を交え、ご指導させて頂くこともあります。



2. イベント食

・バイキング食の開催

年3回、バイキング食を実施しています。

寿司バイキングではみなさん、握り寿司をたくさん召し上がって頂いています。当日は調理スタッフも屋台を準備し、ハッピーを着て、会場を盛り上げてくれます。

・お誕生日膳

入院中、誕生日を迎えた方にささやかですがお膳を用意させて頂いています。

3. 想い

栄養の「養」の字を分解すると「羊」+「食」と見ることもできます。つまり「羊を食べる」となります。羊の肉は薬膳の食材の視点から見ると身体を温め、エネルギーや血液を補う食材です。身体が冷えて、弱っているときに適した食材でもあります。

栄養の不足は体温を低下させることもあります。そこから“弱った体を温め、元気(栄養)になる”という栄養の基本的な意味が想像されます。

また、近年ではサルコペニアやフレイルなど筋力低下が話題となっています。そのため、筋力向上を目指すリハビリ(運動)が注目され、その効果を上げるため患者さんの栄養状態も注目されるようになってきました。

当院は回復期でリハビリが充実しており、患者さんの機能回復の一端を担うことができるのは栄養士の励みでもあります。これからも栄養の基本的な意味を忘れず仕事をしていきたいと思えます。





デイケアセンター便り

3時間以上4時間未満(通所リハビリテーション)では、自らが積極的に活動できるよう、ご利用者一人一人の状態に合わせたプログラムを提供し、安心して生活ができるようサポートしています。今回は、3月のひな祭りでの創作活動についてご紹介します。



創作活動では、運動などいわゆる機能訓練とは違い、作業を通しての指先の訓練や他者との交流など社会性も含め、様々な面でもリハビリテーション効果が期待できます。今後も、笑顔で元気よく毎日の生活を送っていただけるようサービスを提供していきたいと考えております。

機能障害により引き起こされた生活障害に対して、早期から充実したリハビリテーションを提供しています。患者さまの自立性を高め、生活再建を果たせるよう共に努力し、ご支援いたします。



医療法人 メディライフ
知多リハビリテーション病院
TEL (0569) 20-2210
 FAX (0569) 20-2212
 ホームページアドレス
<http://medi-life.jp/>

〒475-0017
 愛知県半田市有脇町13-101
 TEL (0569) 20-2210
 FAX (0569) 20-2212

診療時間：月～土(祝日を除く)
 9:00～12:00(受付は8:30から)
 診療科目：リハビリテーション科
 脳神経外科・整形外科
 ◎通所リハビリテーション
 (1～2h・3～4h)
 ◎訪問リハビリテーション

随時院内見学お受けします